

平塚市博物館

平成25年度 夏期特別展

平塚市社会教育課

平塚市文化財展



真	田	・
北	金	目
遺	跡	群

平成25年(2013年)

7月20日(土)

~9月8日(日)

関連行事

第2回 平塚市遺跡調査・研究発表会 8月31日(土) 午後1時~午後5時
青少年会館 2階 集会室 参加自由(無料)

展示解説 7月20日(土)、8月17日(土) 午前10時、午後3時
博物館特別展示室 参加自由(無料)

入館料 無料

開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日

平塚市博物館

254-0041
電話
H.P.

神奈川県平塚市浅間町12-41
0463-33-5111
<http://www.hirahaku.jp>

真田・北金目遺跡群の発掘調査は、昭和 54 (1979) 年、真田・北金目地区が市街化区域及び土地区画整理事業促進区域に決定されたことに端を発します。

埋蔵文化財に対しては昭和 56・57 (1981・1982) 年真田・北金目遺跡調査団 (故日野一郎団長) に委託して遺跡群の詳細分布確認をおこないました。この詳細分布調査によって区画整理対象地内のほぼ全域に遺構・遺物の分布することが明確となりました。

昭和 60 (1985) 年住宅・都市整備公団による事業施行が決定します。住宅・都市整備公団による埋蔵文化財発掘調査の諸手続の開始に伴い、平塚市は教育委員会に真田・北金目担当を置き、準備と検討を開始します。この間、平成 6 (1994) 年には建設省から区画整理事業の認可が公示されました。平塚市は住宅・都市整備公団との過去の経過を踏まえ、神奈川県と協議をおこなってきましたが、最終的に調査会方式による

調査をおこなうこととし、平成 7 (1995) 年には平塚市真田・北金目遺跡調査会を発足し、平成 7 年 9 月 1 日から本格的な発掘調査を開始しました。この区画整理事業の事業面積は 68.7 ヘクタールに亘る広いもので、当初の発掘調査予定面積でも 21.3 ヘクタールに亘るものでした。



調査予定地内には9遺跡の存在が知られます。発掘調査は平成7年に1区とした北金目神社東側の谷から始めました。当初谷部は出土遺物等も少ないだろうと想定していたのですが、深く掘削していくうちに、中世から弥生時代までの多量の遺物が出土し始め、前途の容易ではないことを思い知らされました。調査面積も4回に亘る変更の結果最終的に245,270㎡となりました。

検出された主要な遺構数は10,644基を数えます。竪穴住居跡は弥生時代後期～古墳時代前期が最も多く、古墳時代後期～平安時代が次に続きます。弥生時代後期～古墳時代前期はもう少し時期の細分をする必要がありますが、それでも弥生時代後期～古墳時代前期を3・4世紀としておよそ200年、古墳時代後期～平安時代を7～12世紀として600年ですから、弥生時代後期～古墳時代前期の時期に飛びぬけて竪穴住居跡数が多いことがわかります。溝状遺構は時代が下るに従って増える傾向があります。住居域から生産域へと移行する状況を示しているものと考えられます。

平成 25 年度 夏 期 特 別 展 真田・北金目遺跡群
平塚市文化財展

会 期 平成 25 年（2013 年） 7 月 20 日（土）～ 9 月 8 日（日）

主 催 平塚市博物館・平塚市社会教育課

会 場 平塚市博物館 特別展示室

関連行事 **平塚市遺跡調査研究発表会**

8 月 31 日（土）（青少年会館） 13:00～17:00

1 中原 D 遺跡第 4 地点

(株)玉川文化財研究所（北原朗久・石川真紀）

2 坪ノ内遺跡第 5 地点

平塚市教育委員会（中嶋由紀子）

3 神明久保遺跡第 1 1 地点

(株)玉川文化財研究所（中村哲也）

4 桜畑遺跡第 1 0 地点

(株)アーク・フィールドワークシステム（高杉博章）

5 講演「平塚市真田・北金目遺跡群の概要
18 年間の調査成果」

平塚市教育委員会（若林勝司）

6 北金目塚越遺跡第 6 地点

平塚市教育委員会（中嶋由紀子）

7 北金目塚越遺跡第 7 地点

アーク・フィールドワークシステム（渡辺 務）

8 真田・北金目遺跡群（仮称） 6 6 区

(公財) かながわ考古学財団（天野賢一・斉藤真一）

展示解説

7 月 20 日（土）（特別展示室） 10:00、15:00

8 月 17 日（土）（特別展示室） 10:00、15:00
